

グループディスカッションの心得

2017年 2月 4日

ウイニング就活塾

3月1日までに、準備しておきたい3つのこと

1. SPI、特に非言語

- 最近は『誰にやってもらう』ことができないように、実際に会社で受けさせる企業が増えている

2. 受ける企業を35社決める

- 3月以降説明会などが始まり、ドタバタする。から、早めに決めておこう

3. グループディスカッション = 本日はここをお話しします

- 対策に時間のかかるグループディスカッションの準備を始めておこう

実際のGDでは、どのような問題が出るのか？

1. 『今後のビジネスパーソンに必要な人材は？』
2. 『これから伸びる業界は？』
3. 『手紙とLINEどっちが幸せ？』
4. 『学生に新しい雑誌を考えてください』
5. 『静岡市の人口減の、改善策を考えてください』
6. 『定員割れの大学の受験者数を増やす方法は？』
7. 『カフェのオーナーに解決案を提案しなさい』
8. 『平成の次なる元号を考えよ』

グループディスカッションの『リアルな現実』とは？

1. 今の就活では“避けては通れない”
 - 特に、大企業を目指すなら、なおさら
2. 6人中、1人しか通らない。多くても2人。
 - 「協調性」は見えていない
3. 一番厄介なのは、“なぜ、落ちたか？”が分からない
 - 落ちたら、ずっと落ち続ける
4. 議長、書記、タイムキーパーと、合否は無関係
 - 『アイデア勝負』でもなく、大切なのは「議論のポイント（論点）」の提示
5. “通ればよい！”わけではなく、その上がある
 - GDが目立てば、そのまま“最終面接”ってことも
6. “慣れれば、OK!”が最大の罠

グループディスカッションで気を付けるべきポイント

常に意識すべきこと7カ条

1. メンバーの名前を呼んで振る
 - 「〇〇さんはどっちの意見ですか？」
2. リアリティチェック
 - 本当にそれが原因か？その方法で本当にクライアントが喜ぶか？
3. 相手の意見をホメル
 - 「〇〇さんの意見いいと思います！」
4. 論点がズレていたらズレていることを指摘して修正する
 - 「論点がズレています」
5. 相手の意見にタッチしてあげる。
 - 「〇〇さんの意見に賛成ですが、少し理由が違いまして・・・」
6. 時間を意識する
 - 「あと〇〇分なので次に行きましょう」
7. オープンクエッションではなくクローズドクエッションを使っている
 - 「どう思いますか？ではなく、AとBどっちだと思いますか？」

グループディスカッションで気を付けるべきポイント

序盤で意識すべき+7カ条

8. 会場には早めに到着し、自分から率先して挨拶や自己紹介を開始する
9. グルディス始まる前から自己紹介などで喋るキャラを作る。
 - 素の自分で参加しない
10. メンバーの名前をメモして覚える。
11. 名前を覚えて、議論中、名前で相手と呼ぶ。
12. この問題を本当に悩んでる人の気持ちになって考える。
13. 議論が始まったら、論点（検討ポイント）を示して、議論の道筋を立てる。
14. ホワイトボードがあれば、積極的に使う。

グループディスカッションで気を付けるべきポイント

中盤から終盤で意識すべき7カ条

15. 論点が分からなくなったら「今何について話しているか？」を確認
16. 停滞したら、皆さんで「意見を3つ出そう」と言える
17. 議論にリアリティを入れる
 - 例えば、コンビニの新商品は？がお題ならアルバイトでコンビニ店員していた経験を話すなど。
18. 発表前にメッセージ（伝えること）をメンバーに確認する
19. プレゼンは率先して手を挙げる。
20. プレゼンは結論から言う。
21. プレゼン出来なかったら、他に付け加える点を考え、発表する場があれば発表する。



〒162-0065
東京都新宿区住吉町8-6
野村ビルディング曙橋 11階
Tel : 03(5341)4281
Mail: mail@win-kanata.com
LINE ID: win-takamatsu